

令和5年度年度岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 機関評価結果票

1 運営方針及び重点分野	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>1. 「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」のなかで「儲かる農林水産業加速化プログラム」、「岡山県酪農・肉用牛生産近代化計画」などを示しており課題と目標を内外に明示している。</p> <p>2. ブランド力の強化、環境との調和と気象変動への対応、生産性の向上といった重点課題も適切と考えられる。気象変動への対応は地域の特性を理解した取組みが必要であり、大きな課題であるが細部にわたる課題解決を期待したい。</p> <p>3. 消費者や研究成果を享受する受益者とのバランスを常に意識し、無駄のない効率的な試験研究に心掛けて頂きたい。</p>					
2 組織体制及び人員配置並びに 予算配分	非常に優れている 人	優れている 1人	妥当 5人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>1. 業務を見直して人員配置を修正するなど、効率的な運用に努めている。</p> <p>2. 試験研究だけでなく技術指導・普及業務等も行っているとのことなので、県全体の職員数も関係することから一概には言えないが、畜産研究所は試験研究実施機関であるだけではなく、畜産分野における情報の発信拠点であることから、もう少し増員して余裕を持った研究を行ってほしい。 このままでは、業務実施に追われ、運営方針にある「消費者・実需者ニーズに対応した高度な技術を迅速に開発普及」していくことが困難でないかと心配する。</p> <p>3. 経常経費が高騰するなかで試験研究費を確保することは容易でないだろうが、機関として重視する課題には継続的に予算を投じていただきたい。</p> <p>4. 研究所予算の根幹である試験研究費と事業費のほとんどが財産収入で賄っており、このままでは業務に追われ試験研究等がおろそかになっていくことを危惧する。</p> <p>5. 予算総額は増額となっているが、試験研究費が減少している点が気がかりである。</p> <p>6. 特に県が主導的に実施すべき事業費については、県の一般財源から相応の充当額を増額すべきと考えており、県当局に対してより積極的なアプローチが必要と考える。</p> <p>7. 受託研究などの外部資金は徐々にではあるが増えており、適正な予算確保ができています。</p>					
3 施設・設備等	非常に優れている 人	優れている 1人	妥当 5人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>1. 多くの施設、設備が老朽化しており、更新や修繕に予算確保の努力を続けていただきたい。</p> <p>2. 消費者、生産者に先進的な取組事例を提供する必要があると、長期整備計画とともに短期の整備事業にも取組みを期待したい。</p> <p>3. 令和4年度の特電事業費が大きく減少しており、新たな課題、短期的な事業を提案することの重要性を改めて認識されるとともに、その取組みを評価する体制を整えていただきたい。</p>					
4 研究成果	非常に優れている 1人	優れている 3人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>1. 牛肉のおいしさなど最終消費者のニーズに応えることで研究価値が高まるタイプのものは、2次情報ばかりでなく、消費者や流通関係者の生の要望等1次情報も集め分析した上で、研究に取り組むことを推奨する。</p> <p>2. 委託事業や他の研究機関との連携による研究結果の県内普及状況又は今後の普及計画について、もう少し詳しく報告してもらいたい。</p> <p>3. 乳牛、和牛、環境関係のいずれも、国策や研究所の方針に沿った形で成果を挙げている。</p> <p>4. 改善が期待されるのは消費者、生産者へのアピールであり、機関外の方々とも連携して訴求力の向上に務めていただきたい。</p>					

5 技術相談・指導、普及業務、行政検査、 依頼試験、情報提供等所掌業務の実施状況	非常に優れている 人	優れている 2人	妥当 4人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 民間（農協等）の指導事業も運営が厳しく、県との連携は益々重要になると思われる。 2. 試験研究等以外に指導等実施するのは人員的に困難と推測されるが、「普及してこそ試験研究である」という原点に戻って積極的に実施してほしい。 3. 情報提供に関しては、幅広く実施しているが、新聞発表など少し弱い気がする。もう少し積極的に実施できないか？ 4. 予算、人員が制限されるなかで、可能な業務を確実にやっていると評価できるが、令和3年度に技術相談が、令和4年度に現地指導が件数を減らしていることはやはり懸念事項である。 5. 乳牛関係の件数が少ないが、産業支援として重要性は大きいと評価できる。関係者向けの情報提供は十分かもしれないが、消費者向けのものはより積極的な活動が期待される。					
6 人材育成	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 農大、酪大、農業高校生への教育や新規就農者への技術指導等、人材育成を着実にやっている。消費者に高く評価されることは難しいが、産業振興、産業支援では非常に重要であり今後も主要な役割として取り組んでいただきたい。 2. 担い手の確保は喫緊の課題であると考えている。このことから、農業大学校旭分校としての役割は重要であるので、関係機関とも連携強化し、優秀な人材を確保すべく育成に努めてほしい。 3. 家畜保健所や県民局職員も農家と接する機会が多いことから、技術向上のため基本的な研修の場をもっと増やすことも必要と考える。					
7 他機関との連携	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 多様な機関と産学官連携を行っており、十分な実績を挙げていると評価できる。 2. 教育機関との連携は消費者の産業理解につながる取り組みでもあり、消費者団体などとの連携も深めて訴求力の向上に努めていただきたい。 3. 公的機関だけでなく、流通関係者や消費者とも話ができるよう連携する仕組みを作ることを勧めます。					
8 県民・地域への貢献	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. まきばの館をリニューアルしたことは、新しい取り組みにもつながる大きな成果である。 2. 施設への見学受入は労力を要することであろうが、その活動を正しく評価するなどして継続、発展させていただきたい。 3. まきばの館以外でも体験学習が出来る場、機会が増えることを望む。					
9 前回指摘事項への対応	非常に優れている 人	優れている 1人	妥当 5人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 文書で適切に対応されており、誠実な姿勢が高く評価される。 2. 対応が困難な指摘も多く含まれているが、丁寧かつ適切に対応していることが理解できた。 3. 令和2年度時の指摘事項に対して、適切に対応している。					

総合評価	非常に優れている 人	優れている 4人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 和牛の改良を大きく進める等、産業振興につながる優れた成果を挙げていると評価できる。 2. 予算や人員が制限されるなかで、実施すべき事業、達成すべき目標をしっかりと定めて取り組んでいるからであろう。 3. 乳牛、肉牛、畜産環境に関わる課題で、ものごとが一気に変わる革新技术が数年程度で得られるとは考えにくい。消費者、生産者からの要望、依頼に対応しつつ、短期、長期の課題解決に継続して取り組んでいただきたい。 4. 懸念されるのは施設、設備の老朽化であるが、まきばの館をリニューアルできたことは関係者にとって大きな励みであろう。 5. 消費者ニーズに対応しつつとしながら、消費者とのコミュニケーションが十分取れているとは言いがたいのが課題である。HPなどに示すだけでは不十分で、機関外の方々と協調して畜産業の理解や畜産食品の消費増につながるアピールを心がけていただきたい。 6. もっと一般向けに取り組まれている内容や成果がより伝わりやすいようにされると、消費行動も変わってくると考える。 7. 地道な研究の成果が農家の発展、消費者生活の向上につながることを期待します。 8. 支援は普及やJAと連携して行っていることがわかった。 					

注意事項

各評価委員の評価内容を基に、重複する評価内容を取りまとめて記載する等、2～3枚程度で取りまとめてください。また、この資料は、HPで公表されるとともに、農林水産委員会等の資料として使用予定ですので、特定の個人を指す事例や特許取得等に支障がある内容は表現を改める等、個人情報の保護や知的財産権の取得等に支障がないよう、配慮してください。